



# Arcserve Business Continuity Cloud

## Arcserve UDP Cloud Hybrid のご紹介

# Arcserve Business Continuity Cloud とは



バックアップ、災害復旧、高可用性 を提供する  
Arcserve 独自のクラウドサービス

## Arcserve UDP Cloud Hybrid

ご利用中の Arcserve UDP のデータを Arcserve が運用するクラウドに複製



## Arcserve Cloud Direct

バックアップサーバ不要で直接クラウドにバックアップ



# Arcserve Business Continuity Cloud の狙い

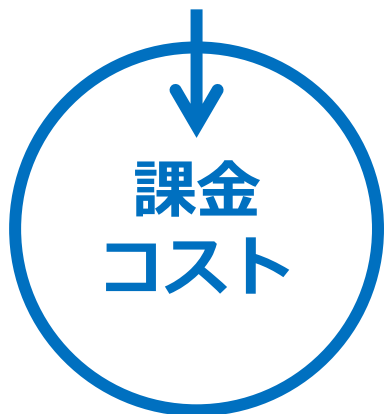


導入の敷居を下げ、より多くのお客様のデータ、ビジネスそして安心を守ります。



## 機器/設備の導入・運用の手間からお客様を解放します

データセンター選定や機器の購入、ラッキング、インストールなどの導入作業はもちろん、その後の運用管理も Arcserve にお任せ下さい！今まで難しいと二の足を踏んでいた 災害 / ランサムウェア 対策を簡単に実現できます。



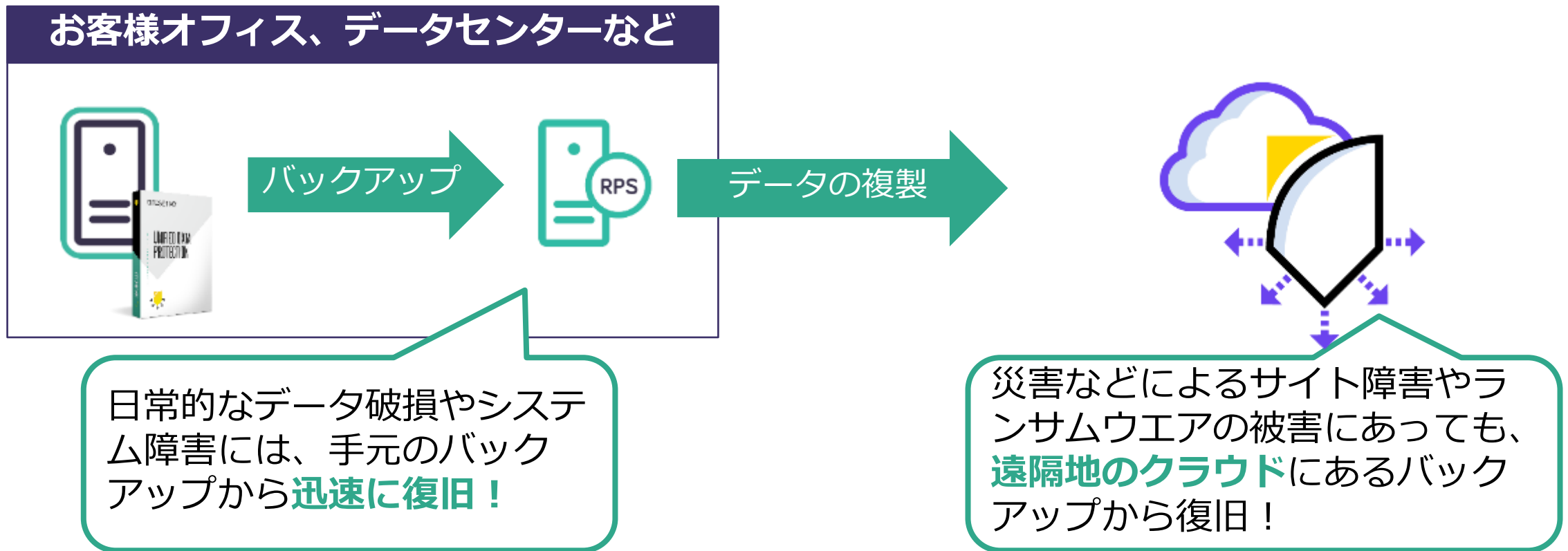
## 購入したストレージ容量内で使い放題

1 TB 単位のストレージ容量、1年間のサブスクリプション契約というシンプルな価格体系を用意しました。ネットワークの転送量に課金されるなど、思わぬ費用に煩わされる事はありません。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid とは



Arcserve UDP / Arcserve UDP Appliance が持つ復旧ポイントサーバ（RPS）間のレプリケート（複製）機能を活用し、オンプレミスでの利便性の高いバックアップと、災害に備えた遠隔バックアップの「ハイブリッド」を実現するサービスです。



※ Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用には、Arcserve UDP の有効なメンテナンスが必要です。

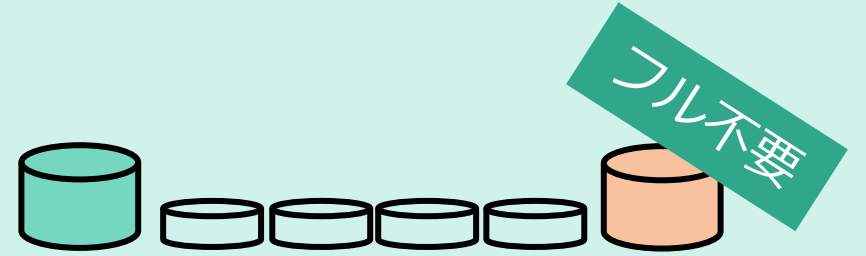
# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ クラウドへのバックアップデータ複製を支える仕組み



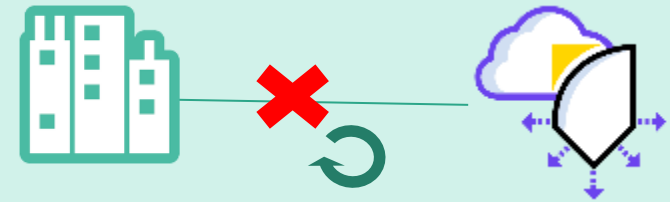
### ① 少ない転送量でネットワークの負担を軽減

フルバックアップの転送は初回だけで、  
以後は増分データだけを重複排除して転送。  
さらに帯域制御機能で日中の業務影響を軽減。



### ② ネットワーク障害でも安心

転送失敗時は自動リトライし、  
回線復帰後は未送信分の転送を再開。  
インターネット経由でもしっかりデータを複製します。



### ③ データは安全に転送・保存

転送時はTLSで暗号化  
保存時は AES 256 で暗号化

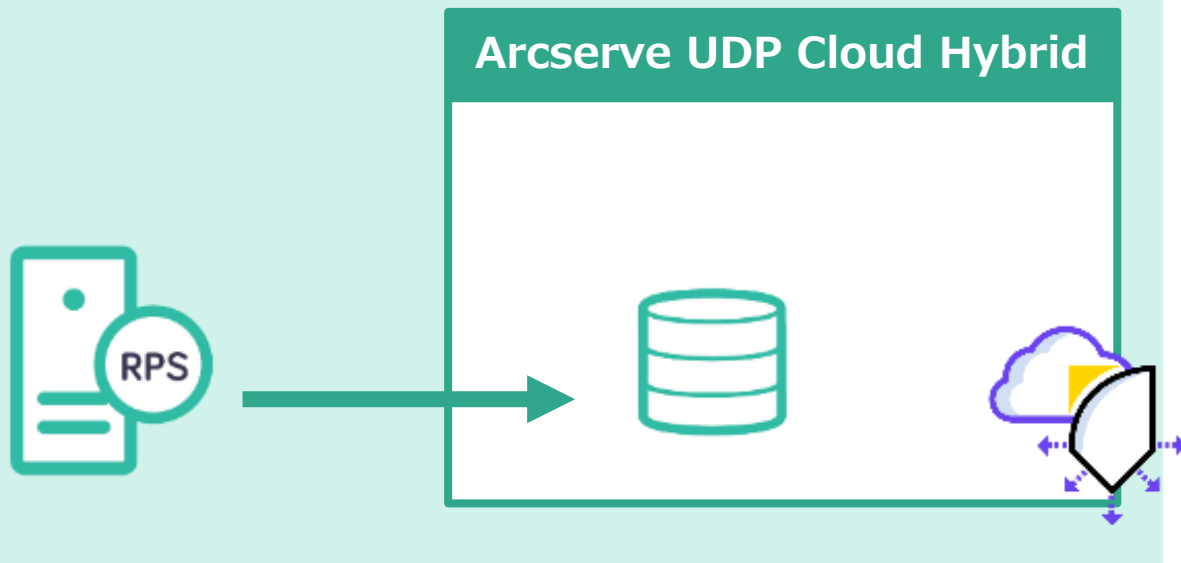


# Arcserve UDP Cloud Hybrid で選べる2種類の構成



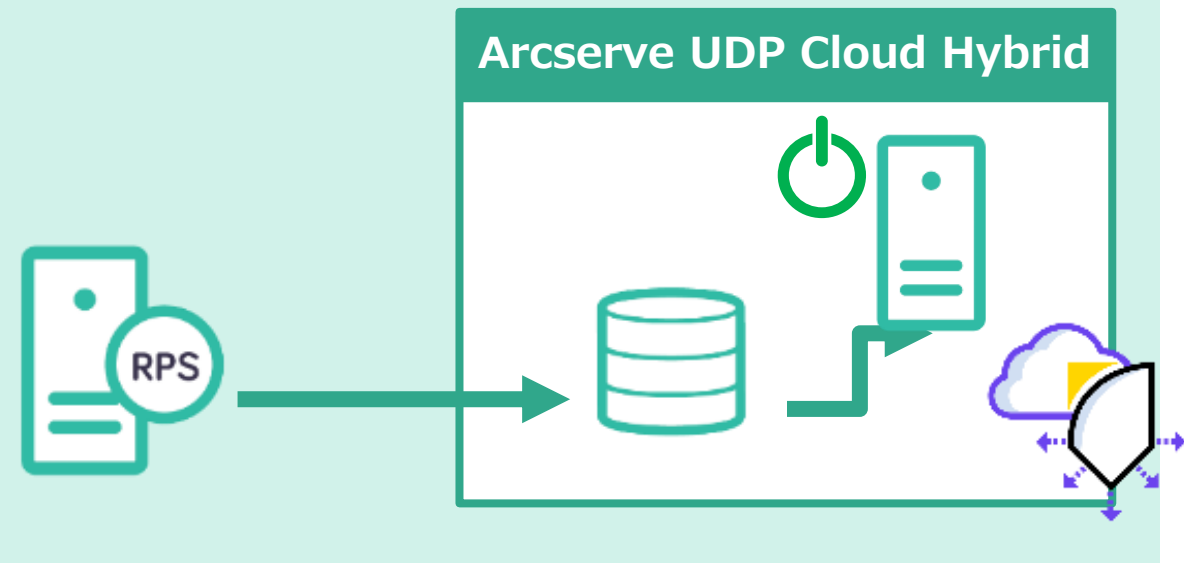
## BaaS (Backup as a Service : バックアップ サービス)

Arcserve UDP Cloud Hybrid に復旧ポイントサーバ (RPS) 内のバックアップデータを複製する方式。



## DRaaS (Disaster Recovery as a Service : 惨事復旧サービス)

バックアップデータの複製に加えて、本番システムの代替仮想マシンを起動できる方式。



※ DRaaSをご希望の場合は、新規契約時に1つ以上のコンピュートリソースサブスクリプションの購入が必要です。



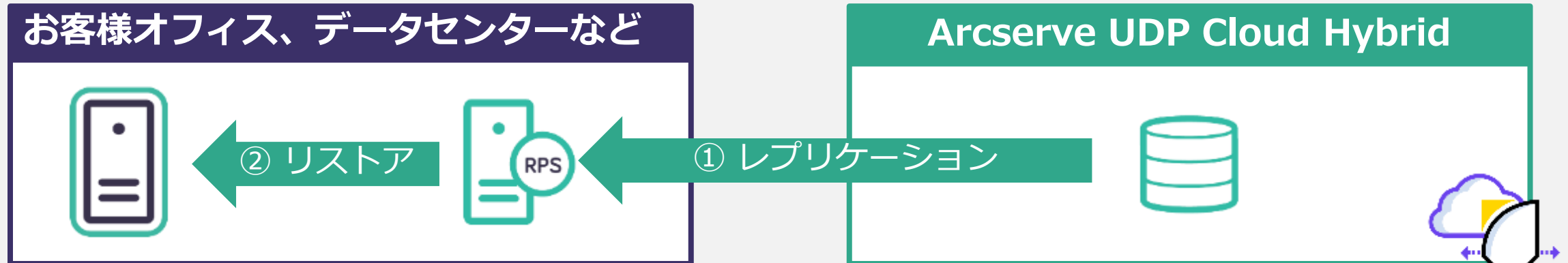
## Arcserve UDP Cloud Hybrid の 利用シーン

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン1

## ～ 災害によるサイト障害からシステムを復旧



オンプレミスのバックアップ データが災害などで失われた場合には、クラウドから RPS へバックアップ データをレプリケーションし (①)、そのバックアップ データからシステムをリストアします (②)。





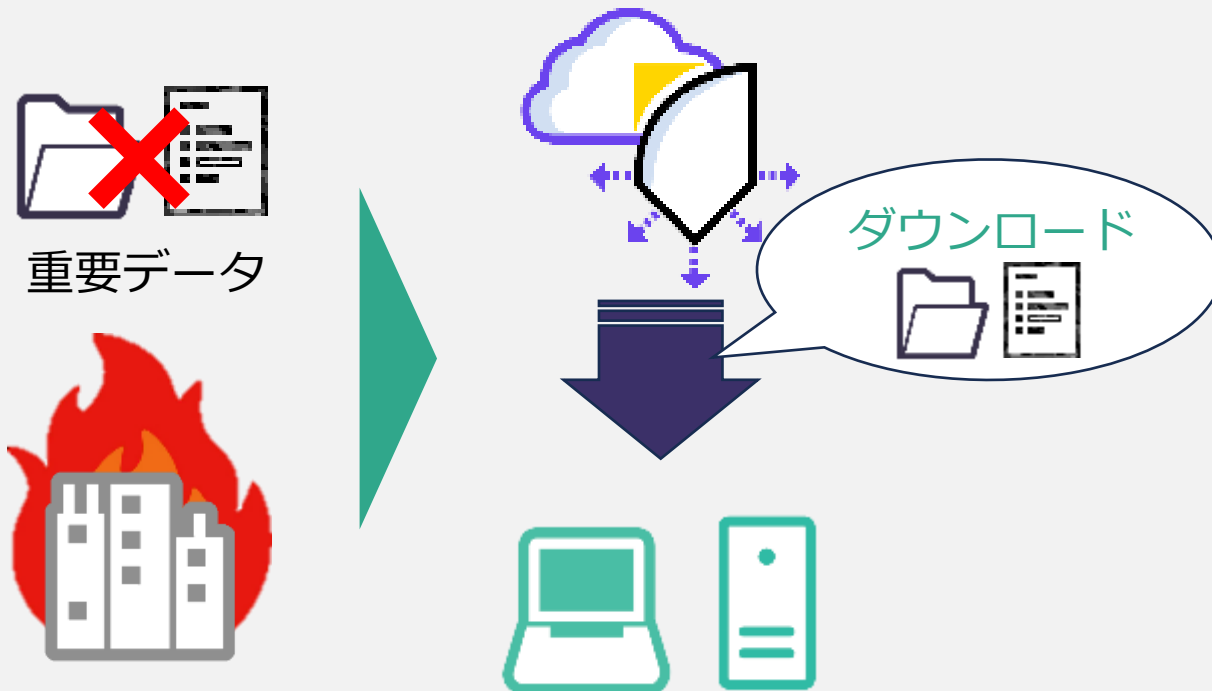
# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 被災時に便利な機能：ファイルのダウンロード



被災時、とにかく直ぐに重要なデータが必要となった場合！

Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソールからファイル/フォルダをダウンロード



### BaaS

- ・ Windows環境 或いは共有フォルダのバックアップデータからダウンロード

### DRaaS

- ・ Linux環境のバックアップデータからもダウンロード可能

# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 復旧時に利用する2種類の逆向きレプリケーション



### 旧リバース レプリケーション



復旧ポイント  
サーバ

Cloud Hybrid

- ✓ Arcserve UDP Cloud Hybrid のインスタンス上で Hostsによる名前解決が必要
- ✓ オンプレミス環境のルータ等でポートフォワードの設定が必要
- ✓ データストア内の復旧ポイントを一括でレプリケーション
- ✓ 共有プランで仮想スタンバイが可能

### リバース レプリケーション



復旧ポイント  
サーバ

Cloud Hybrid

- ✓ オンプレミスの Arcserve UDP のバージョンが 8.0 以上
- ✓ Arcserve UDP Cloud Hybrid のインスタンス上で Hosts による名前解決が**不要**
- ✓ ポートフォワードの設定が**不要**
- ✓ **ノード/復旧ポイントを指定したレプリケーション**

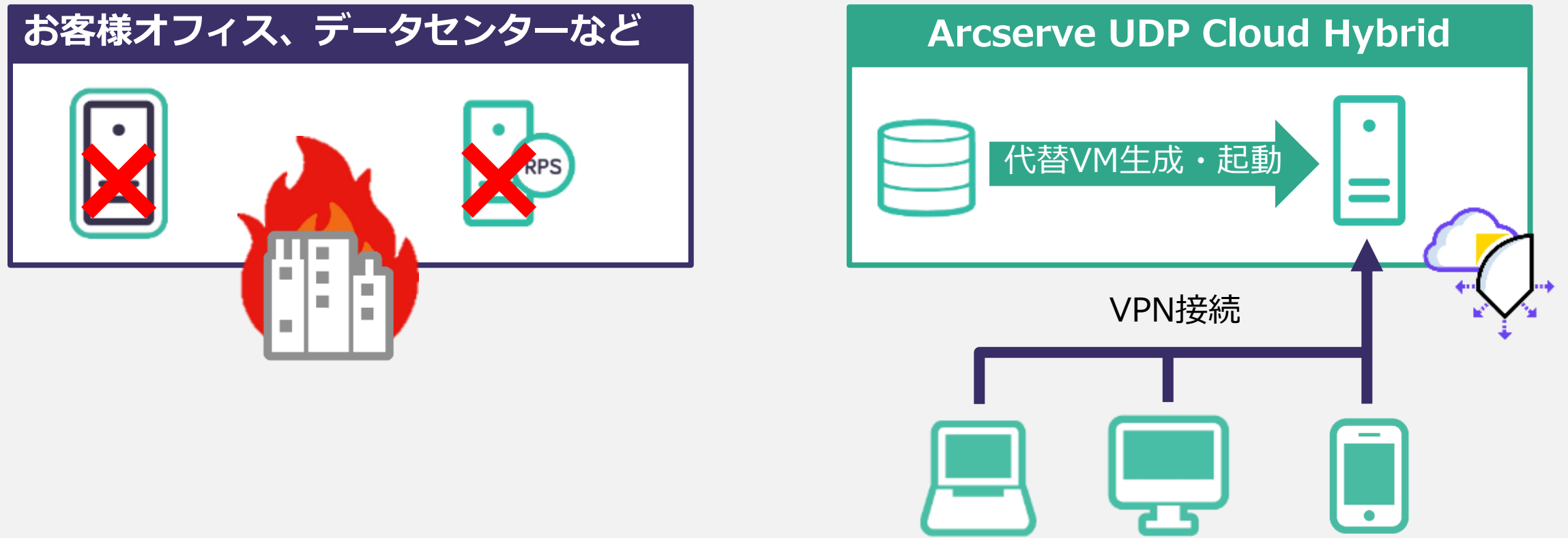
※ 逆向きレプリケーションを安定して行うには、お客様サイトで固定グローバル IP 接続サービスを契約されることをお勧めします。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン2

## ～ 災害時にクラウド上でシステムを継続利用



災害時には、インスタントVMまたは仮想スタンバイ機能で、本番システムの代替仮想マシン（VM）を起動。VPN経由で代替VMにアクセスし業務を継続できます。



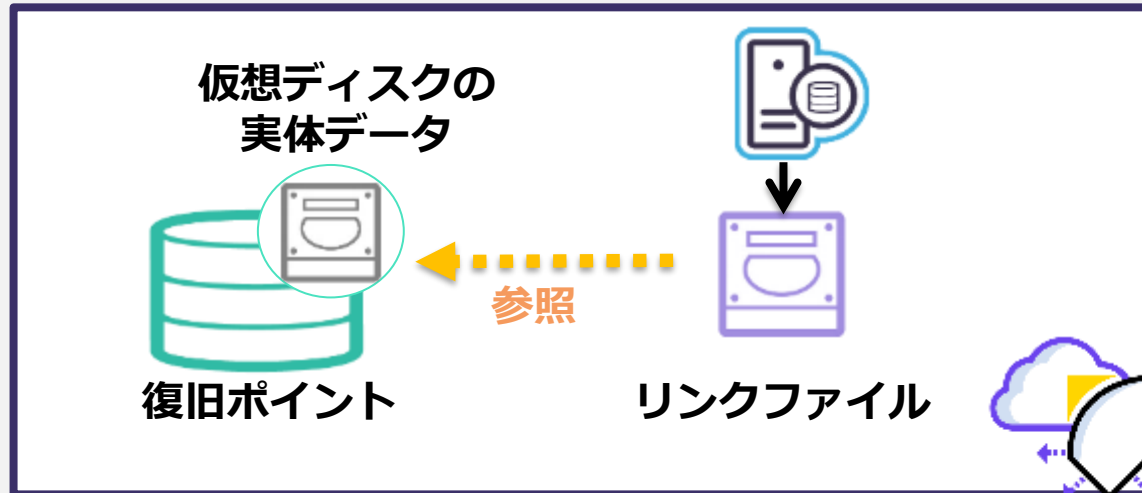
# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 代替仮想マシンを作る 2 つの方法



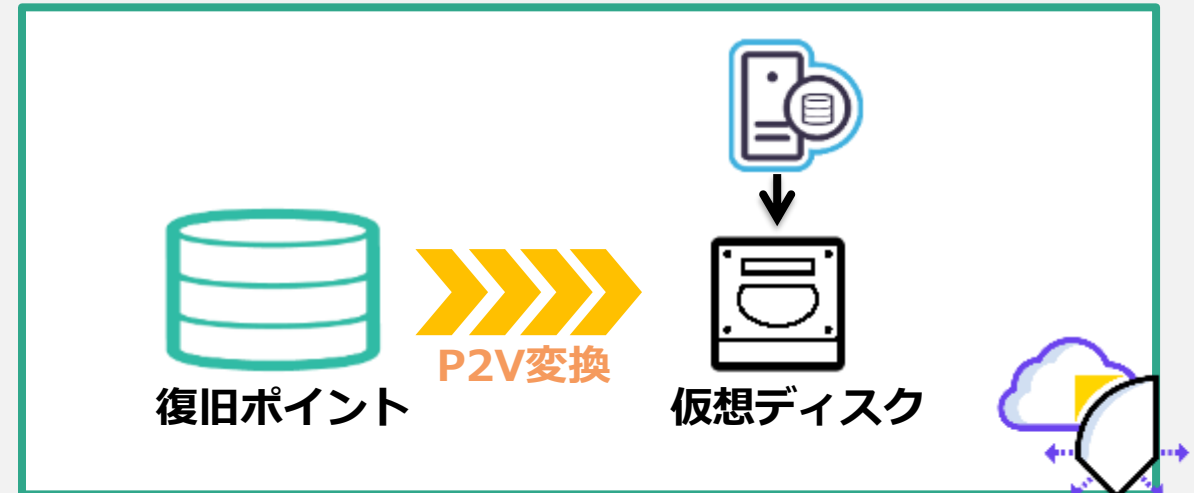
### インスタントVM

- 復旧ポイントを直接参照してVMを起動
- **Windows/Linux** のどちらでも利用可能
- ディスク使用量：**少ない**  
(仮想ディスクはリンク ファイル等)
- 災害時の**一時的な業務継続向き**



### 仮想スタンバイ

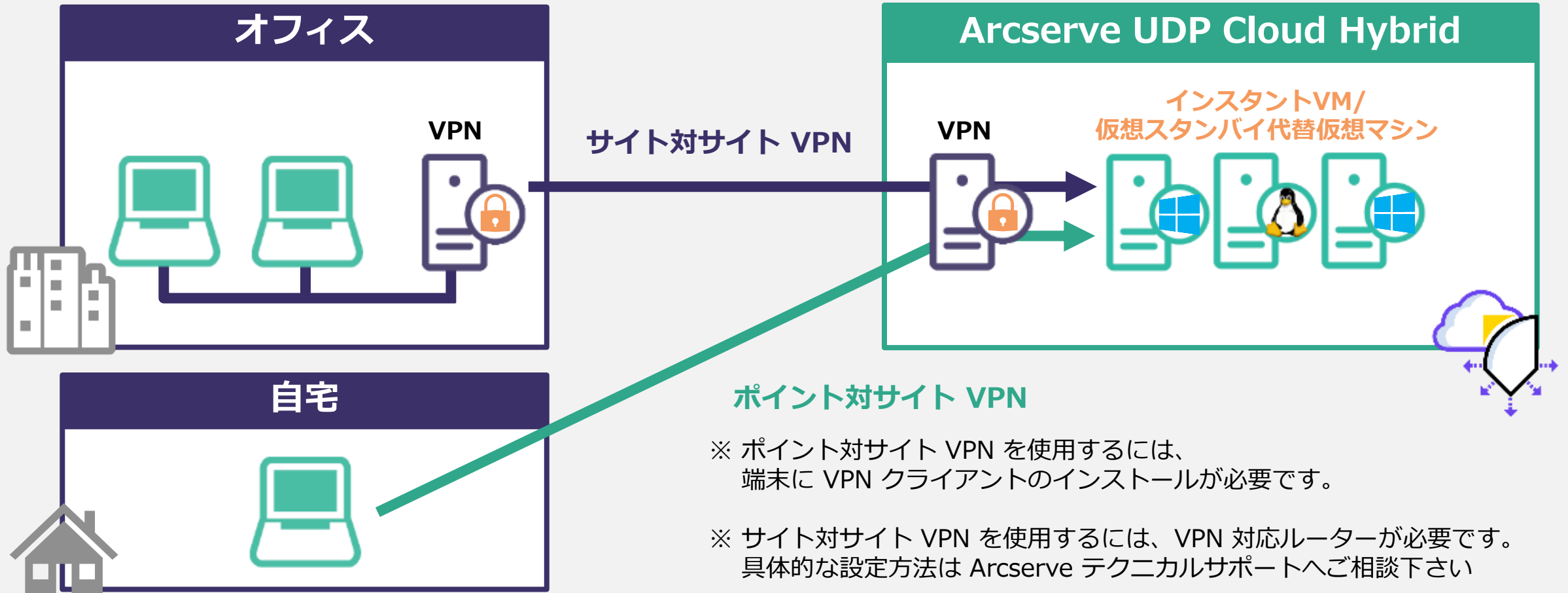
- あらかじめP2V変換を実施
- 対象は Windows サーバのみ
- ディスク使用量：**多い**  
(復旧ポイントと仮想ディスクで2倍必要)
- **継続運用が可能**



# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 代替仮想マシンにアクセスするための 2 種類の VPN

サイト対サイト VPN と ポイント対サイト VPN の二種類の VPN 接続を使って、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上の代替仮想マシンにアクセスできます。



### ポイント対サイト VPN

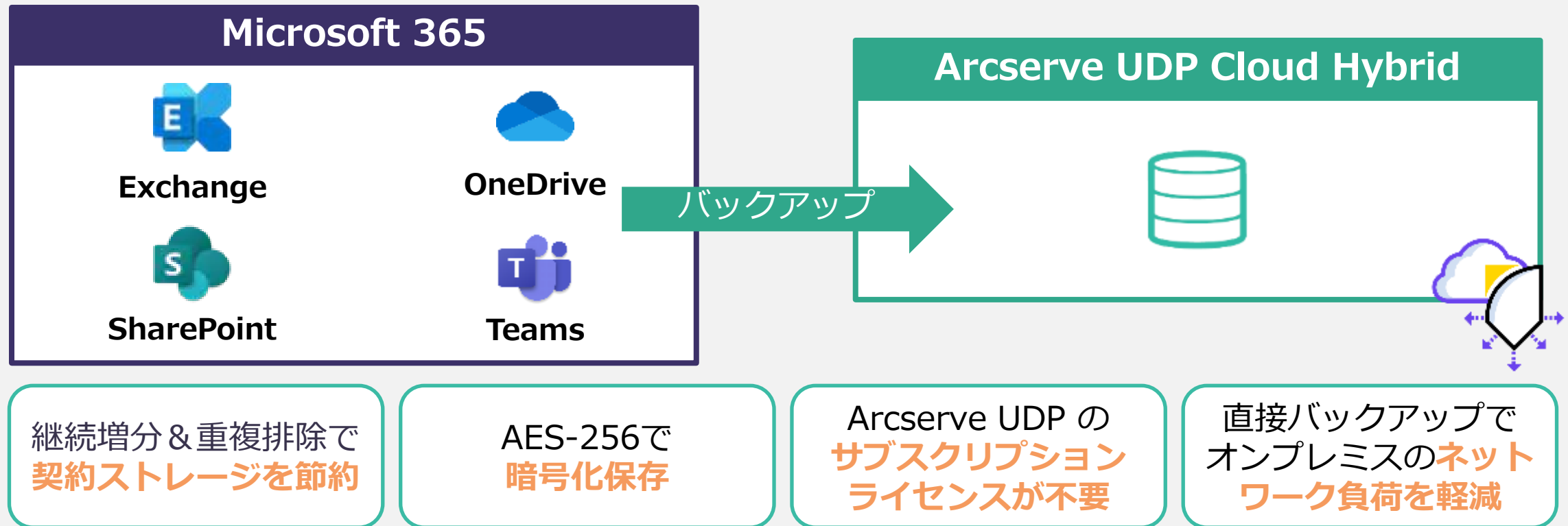
- ※ ポイント対サイト VPN を使用するには、端末に VPN クライアントのインストールが必要です。
- ※ サイト対サイト VPN を使用するには、VPN 対応ルーターが必要です。具体的な設定方法は Arcserve テクニカルサポートへご相談下さい

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン3

## ～ Microsoft 365 のデータを直接クラウドへバックアップ



Microsoft 365 に限り Arcserve UDP Cloud Hybrid に**直接バックアップ**できます。  
しかも Arcserve UDP の**サブスクリプションは不要**！  
退職者アカウントなどの保存期間を過ぎたファイル/メールを復旧できます。



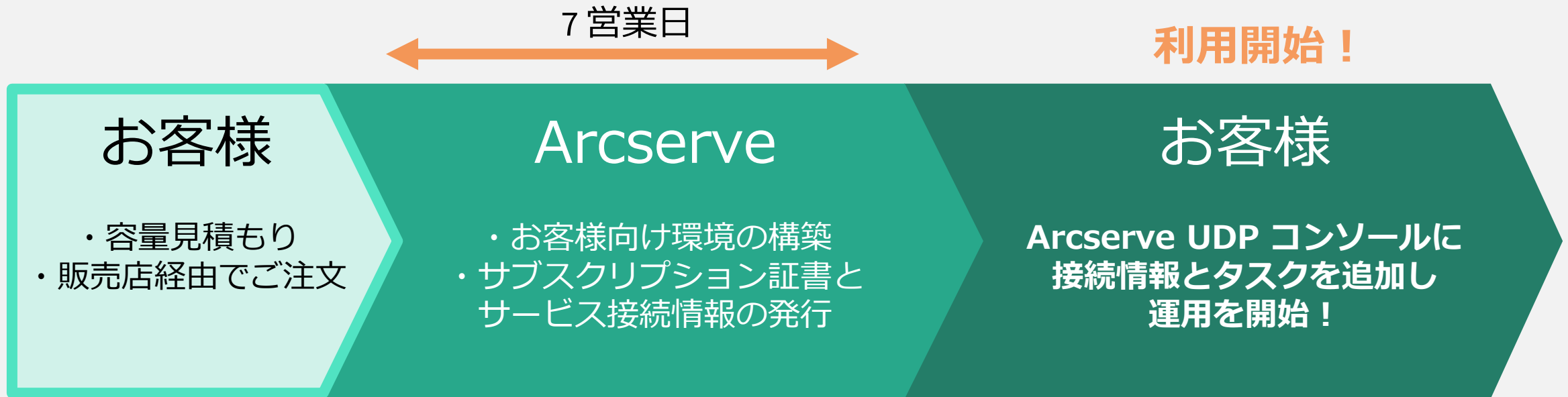


## Arcserve UDP Cloud Hybrid その他の特長と機能

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用開始までの流れ



注文したらしばらくお待ちいただくだけ。  
サーバ見積もりも構築作業も不要で災対サイトが稼働！



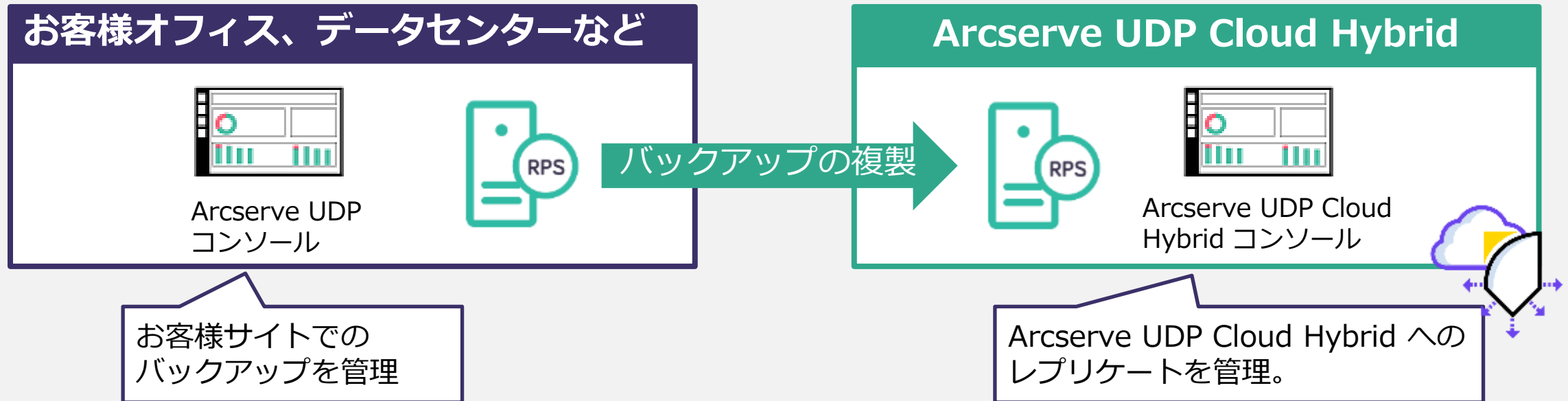
※ 7 営業日は Storage リソースをご注文いただいた際の所要日数です。  
Compute リソースの構築には最長で 12 営業日必要です。



# Arcserve UDP Cloud Hybrid は構築不要ですぐに使える！



Arcserve UDP Cloud Hybrid は復旧ポイントサーバ（RPS）や Arcserve UDP コンソールが **インストール済み** の状態で引き渡されます。操作は Arcserve UDP コンソールと **共通で簡単** に使えます。



- ※ Arcserve UDP Cloud Hybrid コンソール との通信は、**SSL/TLS で暗号化**されています。
- ※ Arcserve UDP Cloud Hybridのインスタンスは、ウイルス対策ソフトで保護されています。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid で選べる 2つのリージョン



災対要件、ご利用シーンに応じて、  
2つのリージョンからご選択いただけます

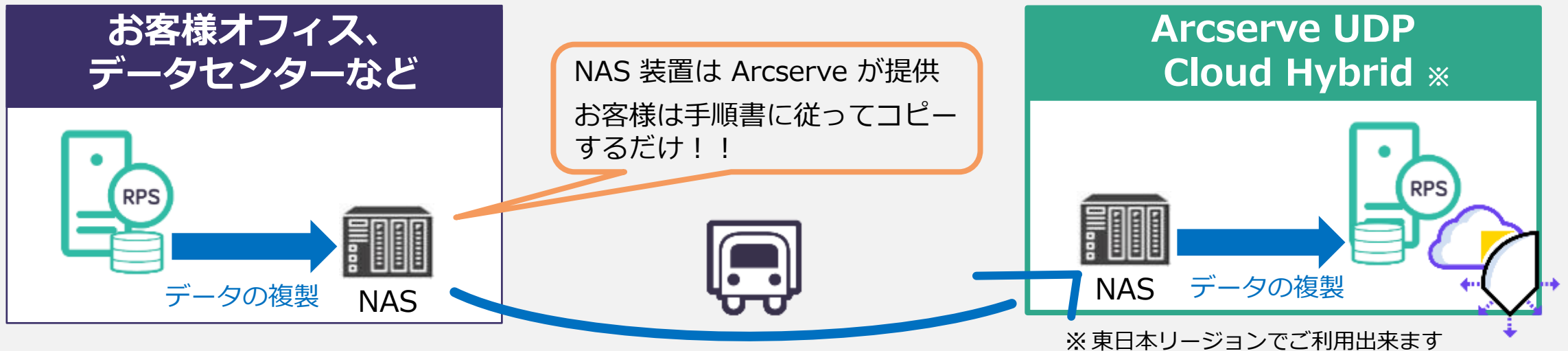
	東日本リージョン	西日本リージョン
データセンターの場所	東京都（多摩地区）	大阪府（大阪市）
利用できる機能	バックアップデータの複製 仮想スタンバイ/インスタントVM	バックアップデータの複製
インスタンスの容量	1 TB ~ 60 TB	4 TB ~ 16 TB

※ Arcserve クラウドサービスについては、以下のURLをご確認ください。  
<https://www.arcserve.com/jp/cloud-services/>

# Arcserve UDP Cloud Hybrid バックアップデータ運搬オプション ～ オフラインでバックアップデータをクラウドに転送 ～



Arcserve が用意する NAS 装置を使用し、Arcserve UDP Cloud Hybrid に  
物理的にデータを運搬するオプションサービス



Internet 経由での初回のデータ転送を省略し、  
速やかな災害対策が可能に！！

- ・ NAS の容量は最大45TB  
(1TB は10の12乗バイトを表します)

# Arcserve UDP Cloud Hybrid で多要素認証の有効化 ～ クラウド上のバックアップデータをより安全に管理 ～



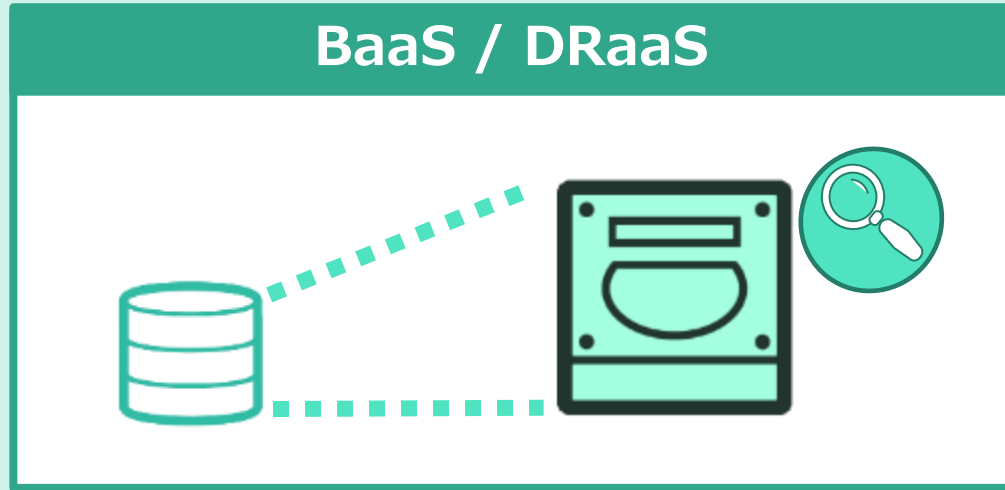
パスワード入力に加えて、確認コードの受信/入力を必要とすることで  
不正アクセス リスクを低減

※ 多要素認証を有効にするには、Arcserveサポートへご連絡ください。

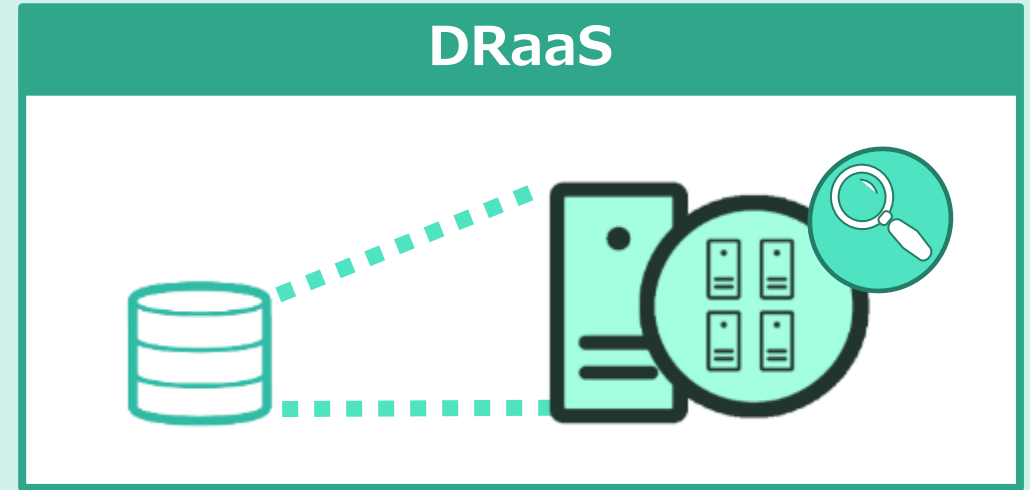
# Arcserve UDP Cloud Hybrid で使えるアシュアード リカバリ ～ レプリケートされたデータがリストア可能か自動でチェック



Windows/Microsoft365 のバックアップデータは**インスタント仮想ディスク方式**※1で状態確認



Windows/Linux のバックアップ データは**インスタントVM方式**※2で起動確認



スケジュールを指定  
して自動実行

確認結果を管理者へ  
メールで通知

Arcserve UDPの  
ライセンスは  
**Advanced で OK !**

※1 CHKDSK でファイルシステムの整合性を確認  
できます。

※2 DRaaS (Compute リソースの購入) が必要  
です。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## 参考 : Windows と Linux OS に対してできる事の違い



お客様サイトの バックアップ方法	Windows		Linux	
	物理 (エージェント)	仮想 (エージェントレス)	物理 (エージェント)	仮想 (エージェントレス)
お客様サイトへの復旧	ファイル/フォルダ単位 逆向きまたは、リバースレプリケート		ファイル/フォルダ単位 <sup>※1</sup> 逆向きまたは、リバースレプリケート	
仮想スタンバイ <sup>※1</sup>	○	○	×	×
インスタントVM <sup>※1</sup>	○	○	○	○ <sup>※2</sup>
アシュアード リカバリ	インスタント仮想ディスク /インスタントVM <sup>※1</sup> 方式	インスタント仮想ディスク /インスタントVM <sup>※1</sup> 方式	インスタントVM <sup>※1</sup> 方式	インスタントVM方式 <sup>※1※2</sup>

※1 DRaaS (Compute リソースの購入) が必要です。

※2 バックアップ対象が Hyper-V 上の仮想マシンであること。



## Arcserve UDP Cloud Hybrid の 価格とサブスクリプションの考え方

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の価格表



東日本リージョン (DRaaS対応)	価格 (税抜)	総額 (税込)
Storage - 1 TB	¥213,000	¥234,300
Additional Storage - 1 TB	¥213,000	¥234,300
Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM	¥70,000	¥77,000
バックアップデータ運搬オプション	¥222,000	¥244,200

月額換算  
17,750円  
/ TB  
(税抜)

西日本リージョン	価格 (税抜)	総額 (税込)
Storage - 4 TB	¥904,000	¥994,400
Additional Storage - 1 TB	¥226,000	¥248,600

月額換算  
18,833円  
/ TB  
(税抜)

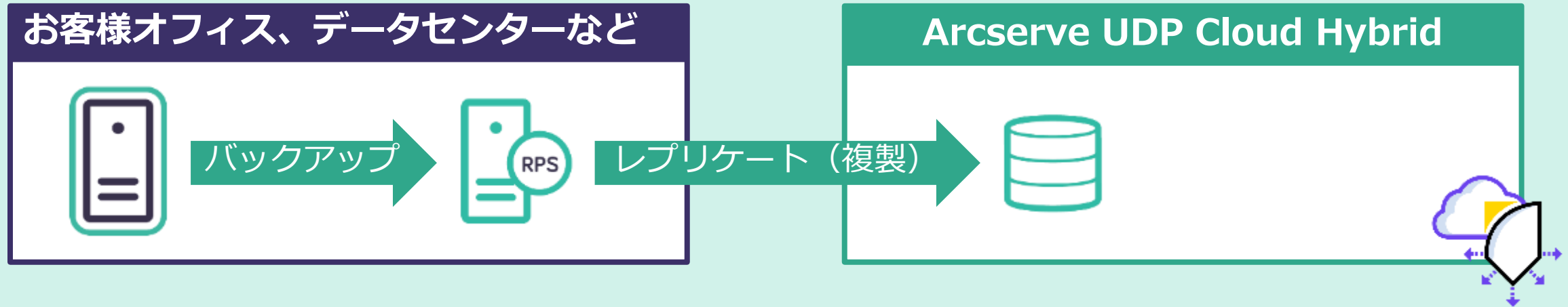
- ※ すべてのサービス項目は1年サブスクリプションです。
- ※ 1インスタンスあたりの最大容量は、東日本リージョン (60TB) 、西日本リージョン (16TB) です。
- ※ 1インスタンスあたりの Computeサブスクリプションの最大数は、32となります。
- ※ NAS 1台 (最大 45TB ) を使ったサービス 1回実施分の料金です。実施有効期間は購入後 1年間です。
- ※ Microsoft 365のバックアップ以外では、一次バックアップ用に Arcserve UDP が必要です。



# Arcserve UDP Cloud Hybrid の構成例1



バックアップデータを Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製するだけ。  
本番サイト全損時には複製したデータからリストア（復旧）できます。



## 購入するサービス項目例

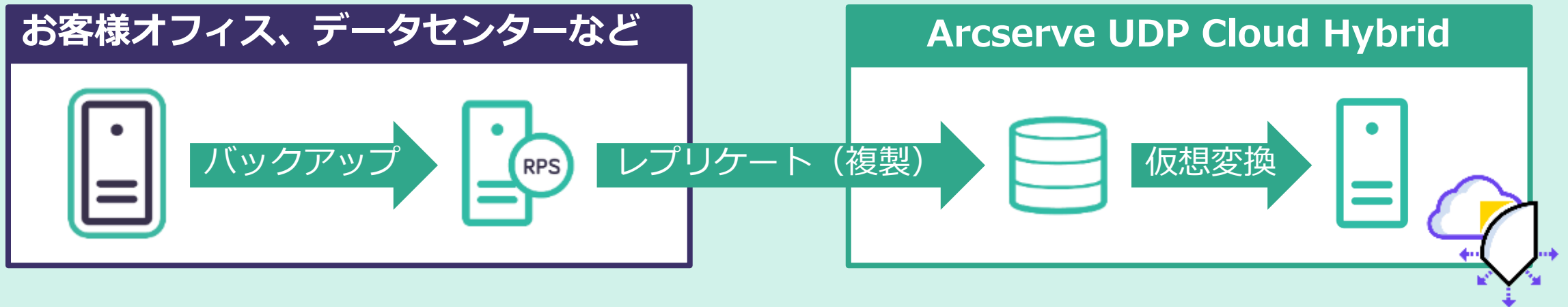
- ・「Storage - 1 TB（東日本）」 x1
- ・「Additional Storage - 1 TB（東日本）」 x7

合計 8 TB までのデータを複製できます。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid の構成例2



複製したデータを使い、Arcserve UDP Cloud Hybrid 上で代替仮想マシン（VM）を起動。  
災害時にも業務を継続できます。



## 購入するサービス項目例

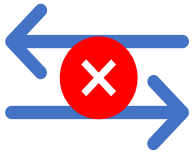
- ・ 「Storage - 1 TB (東日本) 」 x1
- ・ 「Additional Storage - 1 TB (東日本) 」 x7
- ・ 「**Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM (東日本) 」 x4**

合計 4 vCPU, 16 GB RAM  
までの VM を稼動できます。

※ 仮想スタンバイを利用する場合は、代替仮想マシン用のストレージも加えて算出してください。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 購入方法に関してよくいただく質問と回答



**Q.1** クラウドからのダウンロード通信に課金は発生しますか？

**A.1** 発生しません！ Arcserve UDP Cloud Hybrid はダウンロード/アップロードでArcserveからの**通信課金はありません。**



**Q.2** 契約したストレージ容量を超過したらどうなりますか？

**A.2** ストレージ容量の上限に達したタイミングでレプリケートジョブが失敗します。  
なお、使用容量が**契約容量の 95% に達した時点でメール通知**するよう設定することもできます。



**Q.3** 途中からストレージを拡張できますか？

**A.3** はい、**1 TB単位でストレージを拡張できます。** その際、契約期間は元契約と終了日が合うように、月単位で契約期間を調整できます。

# Arcserve UDP Cloud Hybrid

## ～ 購入方法に関してよくいただく質問と回答



**Q.4** Compute リソースを購入すれば、複数の仮想マシンを起動できますか？

**A.4** はい、Compute リソースの合計に収まる範囲であれば、**複数の仮想マシンを同時に起動**できます。例えば、2vCPU/8GB の Windows サーバ1台と 1vCPU/4GB の Linux サーバ2台を同時起動するのであればコンピュータリソース 1vCPU/4GB を 4つ (4vCPU/16GB 分) 購入します。



**Q.5** 仮想スタンバイ用の Storage リソースはレプリケート先とは別に購入する必要がありますか？

**A.5** いいえ、バックアップデータの保存先と仮想スタンバイ用の Storage リソースは共有できます。例えば、購入した 8TB の Storage リソースのうち、7.5 TB をバックアップデータほ保存用に使用していたとすると、0.5TB分を仮想スタンバイのVMに割り当てられます。

※ 以下のURLもご確認ください

Arcserve UDP Cloud Hybrid よくある質問と回答 : <https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/uch-faq.pdf>

# Arcserve UDP Cloud Hybrid 導入事例



## 国内のお客様

- 国際基督教大学様：バックアップの延長感覚でクラウドによるBCP対策を実現
- お世話や様：多忙な情シス担当者を支える簡単＆手間なしBCP対策
- ウェルネット様：クラウドへの二次バックアップで事業の根幹となるデータを守る

## 海外のお客様

- OFIX様：災害時の縮退運用先としてArcserve Cloud Hybridを採用
- PW Hall Ltd様：信頼できる災対先としてArcserve Cloud Hybridを採用

# お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト : [www.arcserve.com/jp](http://www.arcserve.com/jp)  
カタログセンター

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve UDP Cloud Hybrid関連-公開ドキュメント

設定手順書 : [Arcserve UDP Cloud Hybrid スタートアップガイド](#)

FAQ集 : [Arcserve UDP Cloud Hybrid よくある質問と回答](#)



Arcserve ジャパン ダイレクト (購入前のお問い合わせ)

例 : 「この構成で必要なライセンスを教えてください」、  
「Arcserve UDP はXXXに対応していますか?」、  
「XXXはサポートされますか?」



フリーダイヤル : **0120-410-116**

(平日 9 : 00 ~ 17 : 30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)

Webフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/contact-us>

# arcserve®

**arcserve Japan合同会社**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105  
神田神保町三井ビルディング

**購入前のお問い合わせ:**

**Tel: 0120-410-116** (営業時間: 平日 9:00~17:30)

**E-mail: [JapanDirect@arcserve.com](mailto:JapanDirect@arcserve.com)**

**Webフォーム: [お問い合わせフォーム](#)**

[arcserve.jp](https://arcserve.jp)



This document could include technical inaccuracies or typographical errors. Changes are periodically made to the information herein. These changes may be incorporated in new editions of this document. Arcserve may make improvements in or changes to the content described in this document at any time.

© 2024 Arcserve. All rights reserved. All Arcserve marks referenced in this presentation are trademarks or registered trademarks of Arcserve in the United States. All third party trademarks are the property of their respective owners.